

中村哲

(なかむら・てつ)



ペシャワール会現地代表、PMS(ペシャワール医療サービス) 病院長。1946年福岡生まれ。西南学院中学・福岡高校・九州大学医学部卒業。国内の診療所勤務を経て、1984年パキスタン北西辺境州の州都ペシャワールに赴任。ペシャワール・ミッション病院で、らい(ハンセン病)のコン

トロール計画を柱にしたアフガニスタン難民の診療に携わる。1986年JAMS(日本・アフガン-医療サービス)を設立、長期的展望に立ったアフガン山岳地帯の無医村での診療モデルの創設を实践。現在JAMSは1つの基地病院(ペシャワール)と3つの診療所(アフガン国内)を持ち、アフガン人の無料診療に当たっている。

1994年12月には、らい根絶のための病院PLS(ペシャワールらいサービス)を設立、北西辺境州における本格的なコントロール計画に着手する。病院で患者を待つだけでなく、患者の多く住む山岳地帯へも常時巡回診療に出かける。

1998年9月には恒久的な基地となる病院PMS(ペシャワール医療サービス、建坪1000坪、70床)を建設、民族対立の障壁を乗り越え、パキスタン側のプロジェクトとアフガン側側のプロジェクトを統一。11月開院。

PMSの現地スタッフ140名、日本人スタッフ5名。年間無料診療数15万人以上。

【著書】『ペシャワールにて』『ダラエ・ヌールへの道』(石風社)『アフガニスタンの診療所から』(筑摩書房)ほか

【受賞】外務大臣賞(1988年) 毎日国際交流賞(1992年) 西日本文化賞(1993年) 読売医療功労賞(1996年) 朝日社会福祉賞(1998年)



ペシャワール会入会案内

ペシャワール会は、中村哲医師が現地代表として設立したPMS(ペシャワール会ジャパン医療サービス)のパキスタン北西辺境州および東部アフガニスタンでの医療事業を推進するために必要な1.広報活動、2.募金活動、3.ボランティアワーカー派遣に関わる活動を行うNGO(民間国際協力団体)です。1983年発足。2000年12月現在会員数3500人。外務大臣賞(1992年7月)、福岡県文化賞(1994年2月)受賞

*会員の方には、現地の活動をお知らせする会報を年4回お送りしています。

会費(年会費)

学生会員	1000円(一口)
会員	3000円(一口)
維持会員	10000円(一口)
団体会員	30000円(一口)

(会計年度は4月1日～翌年3月31日)

*会費以外の寄附も随時受け付けております

お振込みの場合は、小会の振込用紙または郵便局備え付けの振込用紙に必要事項をご記入の上、郵便局へお出し下さい。

*銀行振り込みの場合には以下の口座にお振込み下さい。

西日本銀行天神町支店(普通) 1106878

〈名義〉ペシャワール会 村上優

なお現金書留・為替などの郵送は、表紙に記してある福岡Y.M.C.A宛てにお願いいたします。

ペシャワール会

peshawar kai

PMS (ペシャワール会ジャパン医療サービス)



ペシャワール会事務局

〒810-0041 福岡市中央区大名1-10-25上村第2ビル307

電話 092-731-2372 FAX 092-725-3440

郵便振替 01790-7-6559

分室 石風社内 電話・FAX 092-725-3440

郵便物郵送先

〒810-0074 福岡市中央区天神1-10-24福岡Y.M.C.A気付

会長 高松勇雄 事務局長 村上優 現地代表 中村哲

PMS (PESHAWAR KAI JAPAN MEDICAL SERVICES)

Abdhara Canal Road University Town Peshawar N.W.F.P PAKISTAN

〈TEL〉 92-91-41093 〈FAX〉 92-91-843600